



川崎大師ロータリークラブ週報

第41期

会長 鈴木昇二

副会長 牛山裕子

幹事 清水宏明

SAA 秦 琢二

例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館

例会日: 毎週水曜日 PM12:30

事務局: 〒210-0812 川崎市川崎区東門前1-15-10 カサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第1967回 (本年度 第8回) 例会 平成25年8月28日 晴れ

- 司会 秦 琢二 SAA
- 点鐘 鈴木 昇二 会長
- 斉唱 奉仕の理想
- ♪ソングリーダー 須山 文夫 会員

ゲストの紹介

米山奨学生

米山奨学金授与

近況報告

横浜国立大学大学院

に通っております。皆

さんに「香(かおる)」

と呼んで頂いております。

現在論文を作成

中で、先週の火曜日に投稿できました。このように勉強できるのも皆様のおかげと感謝しております。



鈴木 昇二 会長

白 玉香さん

来訪ロータリアンの紹介

川崎RC

〃

水口 衛 親睦委員長

山本 浩文 様

渡邊 文夫 様

会長報告

鈴木 昇二 会長

1. DP委員会の皆様、7クラブゴルフ委員会の皆様、準備・計画ご苦労様です。

クラブあつての地区ですので、クラブ活動も全会員のご協力お願い致します。

2. 地区大会RCソング募集のお知らせ

3. 東海道かわさき宿
交流館事業支援寄
付金の御礼の件

4. 交換留学生補助金
授与

会長より牛山会員

へ



幹事報告

清水 宏明 幹事

1. ガバナー公式訪問・ガバナー補佐来訪の件

2. ローターリー為替レートのお知らせ9月は1\$=100円

3. 他クラブの例会変更のお知らせを回覧します。

出席報告

須山 文夫 出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1967回	55	45	33	12	73.33 %
1965回	55	46	31	15	67.39 %
前々回の修正・メークアップ			2	修正出席率	71.74 %

メークアップ

林 鶴・竹田 正和

各会員

本日のニコニコのテーマ

スマイルレポート (ニコニコボックス) 前田 良賢会員

川崎ロータリークラブ

渡邊 文夫 様

お世話になります。

川崎ロータリークラブ

山本 浩文 様

メイクアップお世話になります。矢野さんお疲れ様です。

鈴木 幹久 会員

①石島さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

②野沢さんいろいろ無理をお願ひ致しました。

島岡 榮基 会員

先週2日間、南アルプス鳳凰三山を縦走してきました。ご来光の壮厳さに涙しました。

竹田 正和 会員

- ・石島様卓話よろしくお願ひします。
- ・まだまだ暑い日が続きますので油断しないで過ごしたいと思ひます。

清水 宏明 幹事

石島様卓話よろしくお願ひ致します。

鈴木 昇二 会長

- ① 石島様、ようこそおいで下さいました。卓話宜しくお願ひ致します。
- ② 本日例会終了後、新会員の皆様のオリエンテーションです。聞いてみたい方は、どうぞご参加下さい。

本日のニコニコのテーマ

「石島様、卓話宜しくお願ひ致します。」

牛山 裕子、増田 昌美、出井 宏樹、伊藤 佳子

水口 衛、中村 眞治、前田 良賢、中村 孝

細谷 重徳、石渡 勝朗、矢野 清久、竹内 祥晴

宮沢 和徳、遠藤 悦弘、竹中 裕彦 各会員

委員会報告

同好会委員会

白石 浩司委員長

7クラブゴルフ大会が10月9日(水)に行われます。次週参加者募集のご案内を回覧致しますので多くの参加を宜しくお願ひ致します。

また、当クラブが幹事クラブですので懇親会を手伝っていただきたいと思ひます。

ホストファミリー報告

牛山 裕子会員

29日で日本語研修が終了致します。

青少年交換留学生メアリー・アン・ワードさんにいち早くお会いされたい方は、本日のRAC移動例会にメイクアップしに来て下さい。

卓話者の紹介

鈴木 幹久プログラム委員長

「リストラを成功させる為に」

石島 成敏 様

略歴

昭和36年学習院大学 経済学部卒

元日清製粉(株) 勤労課長、(取) 人事部長

元日清製紙(株) 代表取締役

元日清紙工(株) 代表取締役



卓話

最近、新聞で大手企業が次々とリストラを発表する記事が多く見られる。企業が存続するためにリストラ(企業の再構築)は避けて通れない。時代の変化に対するため、不採算部門の切り離し、また成長部門の抱え込みなど会社の将来を考えての施策である。基本的に人間は変化を望まない、変化を拒否する、また既得権にこだわる。したがって、リストラ中は戦場と同じ状況となる。

したがって、本人のみでなく家族を巻き込むことになる。私はリストラを20数年間何回も体験してきた。担当者、当事者の苦しみ、覚悟、心構えを知ってもらいたいと、私が経験したことを昨年末小冊子にまとめた。今後リストラ

を担当する人、また担当させる人に生かしてほしいと願っている。書面の都合もありポイントしか書けないので残念である。

1. リストラ対応の心構え

大変厳しいことをやるのであるから、自分が腹をくくらないと相手にも腹をくくらせることが出来ない。発表する前自ら腹をくくる、最悪のことが起きても驚かない覚悟が必要である。

2. 説得

リストラの必要性を相手に何回も説き、その時々相手の心に適うことは何かを考え相手の立場に立って動くことが必要である。最終的には信頼関係と誠意が重要である。

3. 信頼関係を得るには、

- 1) 相手の為にな何をやったか、言葉だけでなく、実績を示さなければならない。
- 2) 相手から信用され本音の付き合いができるようになれば、付き合いの長短にかかわらず親密になれる。
- 3) 本音の付き合いができるようにするには、偽りを言わない、事実を率直に話をする。それにより共通の認識を持ってもらう。

4. リストラは簡単なことではない

リストラはする者、される者とも体と心に傷を残す。担当する者はリストラの度に自分自身を削ることになる。

5. リストラは目標ではなく手段である

目標は会社再生、会社存続のためである。

6. リストラは多大のエネルギーを必要とする

リストラが公表される前に秘密を守りながら十分な準備をしなければならない。何回もリストラを体験してきたが、その都度大きなストレスとなって跳ね返る。外部の者が参入するとその戦いは一層エスカレートしていく。リストラ終了後は、リストラした者は戦場から帰還した者と同じくメンタル面での対応が必要と考える。

7. 一方社内移動に限られるが、リストラをやった結果今

日があると喜んでもらっている人たちもいる。

8. リストラで問題が発生した場合、原点に返って考えてもらう

なぜやらざるを得ないのか。自分の身は自分で守る、自分たちの身は自分たちで守る、これが原点である。

9. リストラで得た教訓

- 1) 常識的な尺度で判断。常識とハートが必要である。
- 2) 中小企業は、特に人材は限られている。短所ではなく、長所を見、伸ばすしかない。
- 3) 現場重視
現場の中に実績・本質・問題解決のヒントがある。また現場へ行くと切実感を得る。
- 4) 人間の本性が出る
嫌なこと、不愉快なことは誰もしたくない。したがってリストラが遅れていく。頭の良い人ほどリストラなど嫌なことから逃げ足早く、言い訳上手である。
- 5) リストラへの対応
いくつかの選択肢を自分で決められれば納得しやすい。閉鎖しかない、受け皿もないというのが最悪である。
- 6) 皆から良く思われようとする人は改革が出来ず遅れていく
- 7) リストラの背景を対象者に知ってもらう
時代が大きく変わるとき、必ず犠牲者が出るのが歴史の常である。新しい時代が築かれる時、必ず残存物が取り除かれることになる。
- 8) エネルギーと忍耐が必要
何回も同じ話をする、繰り返し効果は浸透していく。標語は対応すべき内容のポイントを明快に表現できる。徹底させるには工場・現場で毎日指さし・呼称すると効果が高い。
- 9) 問題解決能力を持ったリーダー（工場長及び担当課長）の人选が重要
リストラ時にはいろいろの問題が急浮上する、それを次々に解決していく能力が必要となる。

- 1 0) リストラを最小限に抑えるためには
前兆の把握：
社会及び業界の変化に早く気づき、早めに対応することが大幅なリストラを防ぐ方法である。リストラを実行する決断は経営者を悩ます重要課題である。
自分の代で行うことを避け延期し、その結果大リストラとなる場合が多い。
- 1 1) 人心の掌握はテクニックではない。事実の裏付けが何よりも優る。
- 1 2) 説得の方法（解決の方法）
相手により説得の仕方を変える。相手が何を求めているかにより異なる。
- 1 3) 理屈だけでは人は動かない（理論+情）
- 1 4) リストラ後のフォローが大切である。特に継続的にリストラをやらざるを得ない企業にとっては重要。
- 1 5) 方針を出したら現場にある程度任せる
細かい指示は現場に混乱とエネルギーの浪費を招く。必要以上に内部に気を使わせることは内部にエネルギーを費やさず対応力を弱らせる。
- 1 6) 上は理想的な要求を出す。実行するのは自分たちであり、兵力、体力とも限られている。
日常業務をこなしながら、あれもこれも同時にできない。その都度焦点を絞ってやらざるを得ない。

- 1 7) 相手が外部に相談に行く前に説得を
外部が入ると余分の時間とエネルギーを使うことになる。
- 1 0. リストラ前の準備が重要
(リストラをやりやすくするには)
- 1) 相手に対する調査力が成功するか、しないかの鍵となる。特に過去のリストラの事例と検証及び対策が重要である、失敗した事例が伝わっていないと、同じ誤りを繰り返すことになる。
- 2) 相手の考え方を事前に相談して相手の尺度にあわせ説得する。
- 3) 下だけの合理化は失敗する。自分自身の近辺からリストラすると説得力を増す。
- 4) 事前情報の共有は、対応策が多面的にできる。
- 5) 外部の知恵を借りる
各専門分野の弁護士、コンサルタント、経験者の活用。
- 6) 現場には感度の良い者を送り込むことにより必要で正しい情報が得られ、解決策に結びつく。

青少年交換生(派遣) 嶋崎 健一郎さんからのメール(1)

 派遣生の嶋崎です。

無事に台湾へ到着出来ました。

これからもいろいろとご迷惑をかけると思いますが、
 よろしくお願ひします。



スケジュール予定

- 9月7日(土) 14:00 聖光学園
YE学生歓迎会・12-11 学生帰国報告会
- 9月8日 米山奨学生・学友夏季レクリエーション
- 9月9日 地区ロータリー財団セミナー
- 9月17日 地区大会実行委員会⑥
- 9月19日(木) ロイヤルパークホテル
地区チャリティーディナーパーティー
- 9月24日 地区大会記念 チャリティーゴルフ大会
- 9月26日 米山カウンセラー研修会
- 9月27日 クラブ社会奉仕委員長会議

次回例会 9月11日(水)

第4回クラブ協議会

轟ガバナー補佐訪問

: クラブ会報委員会 :

- 増田昌美 / 竹田正和 / 須山文夫 / 飯塚元明
- 竹中裕彦 / 水口 衛 / 岩井茂次 / 中村 孝